

令和元年度第3回二宮町総合教育会議 会議要旨

開催日時	令和2年1月23日 木曜日 13時30分から15時13分まで
開催場所	二宮町役場 2階 第一会議室
出席者	村田邦子町長、森英夫教育長、岡野敏彦教育長職務代理者、原道子教育委員、山内みどり教育委員、渡辺優子教育委員
町部局	政策担当部長
教育委員会	教育部長、教育総務課長、生涯学習課長、教育総務班長
その他	傍聴 6人

※会議次第および資料は、別添ファイルのとおり

会議記録

1. 開会

(司会・教育部長)

開会にあたり、司会（教育部長）より会議の公開を諮る。

— 許可、傍聴者入室、着席 —

2. 町長挨拶

(町長)

こんにちは。令和元年度最後のその総合教育会議です。野谷教育委員、今回からよろしく願いいたします。今日は、今年度のまとめと今後に向けた意見交換ということで、いくつかテーマを挙げました。様々なご意見をいただきたいとおもいます。よろしく願いいたします。

3. 協議・調整事項

(町長)

では、協議・調整事項の（1）小中一貫教育校の推進についてです。2月に意見交換会もあるということで、まずは、事務局から説明をお願いします。

— 事務局、資料説明 —

(町長)

説明ありがとうございました。意見交換会において、資料をお示ししながら進めるということですね。2回目の意見交換会に向けて、いかがですか。

(教育長)

多くの方のご意見をいただけるよう、従来の開催箇所に加えて、町立体育館でも開催いたします。また、引き続き丁寧な説明を行い、様々なご意見をいただきたいと思いますと考えています。資料については、教育委員会議の中で、教育委員の皆さんからご意見をいただきながら作成させていただきました。

(山内委員)

7月の意見交換会では、幅広い世代の町民が集まり、教育のあり方について、率直かつ様々なご意見をいただきました。これまで数か年をかけて、教育委員会だけでなく、教職員の皆さんの研究が積み重ねられてきました。そうした部分も踏まえながら、今回も活発な意見交換をしていきたいと思えます。

(町長)

意見交換会を進める中で、議論が深まることを期待しています。教育委員会の方角性を受けて、行政側でも計画的な取り組みを行いたいと考えています。

(渡辺委員)

今回の意見交換会では、従来の案に町民の皆さんからお寄せいただいた案を比較した表を示しながら意見交換を行いたいと考えています。案の中には、既存校舎の改修案だけでなく、新設校を作る案もあります。教育委員会として方向性を考えていきたいと思えますが、特に、ハードウェア面の整備で大きな決断をする場合、町長としての思いはありますか。

(町長)

大規模な改修に限らず、今後施設の調査を行い、小中一貫校化を進める中で、必要な改修はしっかりと行っていかないとはいけませんね。ただ、新設校案については、費用の面もさることながら、学校規模の問題もあることから、今、一気に進めることは難しいと感じています。学校を新設するとしたら、さらに20年、もっと先の未来の検討課題となると思えます。

(山内委員)

どれだけ先を見通すかというのは悩ましい所ですね。町の取り組みによる人口増加と、全国的な人口減少、今後の増減を見通すのが非常に難しいですね。

(町長)

町の再配置計画においても、長期スパンでの想定を進めていますが、50年後を見通す事は難しいと感じています。行政の計画は長期スパンが大切ですが、計画を進める途中途中で、見直しや修正を重ねていく必要があります。

(岡野)

取り組むにあたって、課題があります。少子化、いくつかの小中一貫課題認識が大事。まず動き出すことが大事。町長のお話しする通り、途中での見直しが大事。

(岡野)

子供たちの成長、社会に出たときに活躍できるような育ち。I c tのような技術的な部分や、もっと根幹課的な人間としての力を育てる。そういう意味では、実を伴った目標を掲げ取り組んでいきたい

(野谷委員)

小中一貫教育は、9年間という長いスパンで子どもたちを育てていこうというものです。その仕組みを作っていくにあたっては、様々な面で課題について細やかで丁寧な対応が必要と感じています。

(町長)

ハード面特にICTなどの教育環境の整備については、後ほどの話題でお話ししましょう。では、まずは次第の順ということで、(2)コミュニティ・スクールの進捗状況についてです。取組を事務局からお願いします。

— 事務局説明 —

(町長)

事務局から説明がありました。一色小学校が一足早く始まりましたが、各校、各地域の特色が出ているようですね。情報交換や連携をしながら、取り組んでいただきたいと思います。コミュニティ・スクールの取り組みが、少しずつ地域に浸透している感があります。教育委員会だけでなく、行政側の部局においても連携や協力を図っていききたいと思います。コミュニティ・スクールの取り組みについては、これまでの総合教育会議でも議論を重ねてきたことですし、引き続き今後も話題として出していききたいと思いますので、よろしく願いいたします。では、次に、(3)新学習指導要領をふまえた教育環境整備についてです。資料の説明をお願いします。

— 事務局説明 —

(町長)

事務局から説明がありました。町では、4月からの新学習指導要領開始も踏まえて、9月補正予算で対応してきました。2月には先生方にもタブレットが導入されます。G I G Aスクールなど国の大きな働きかけもあるようですが、教育長からは、まずは学校現場の先生方がしっかりと使いこなす時間が必要というお話もいただいています。ただ機材を用意すればよいとわけでもありませんし、国の取り組みを把握しながら、遅れをとらない形で進めていきたいと考えています。

(岡野委員)

ハード整備はもちろん必要ですが、使用する側の教育も必要ですね。機器の使い方だけでなく、インターネット上の多くの情報をしっかりと見極めて、その情報を使いこなせるように子どもたちを育てていく必要があります。そういった意味では、教育とこれまでの教科指導の中にある教育内容も、新しい機器を使いこなす教育とともに大切ですね。

(渡辺委員)

デジタルネイティブとも呼ばれる世代は、タブレットのような機器をすぐに使えるようになります。だからこそ、人と人との関わり合いが大切なことであることを、学校だけでなく家庭でもしっかりと教えたいと思います。

(教育長)

新しい技術を学ぶことは必要ですが、学指導要領でも、対話力や調整力をきちんと育むこと、自分のことを発信することと、相手のことを聞き受け止めることが大切であると書かれています。

(野谷委員)

教育現場では、不易と流行という言葉があります。不易は、読解力や計算のような常に求められる基本的な部分、流行は、このICT機器を用いるような社会が求めている部分になりますね。

(山内委員)

読解力のお話がありましたが、この後の図書館のお話にも繋がりますが、子どもたちの読書の時間、本と向き合う時間も欠かすことができないと思います。スマートフォンに行きがちな時間を、読書の時間にしてほしいですね。

(町長)

学校では、朝読書の時間を設けて、一定の読書時間を確保していますね。

(渡辺委員)

読書習慣というのは、学校だけで身につくものではありません。保護者による読み聞かせや地域での取り組みも大切ですね。保健センターで健診時に行われている、ブックファーストの取り組みも家庭での読書のきっかけになりますね。まずは、家庭での取り組みがあり、その上で、学校教育においても読書習慣が育まれると良いですね。

(町長)

家庭や子育てにおける様々な取り組みが、学校教育に繋がりますね。図書館については、この後の、(5) 図書館の運営について、の中でお願いします。

今日は、今年度の振り返りということもあります。続いて、(4) 児童生徒への支援体制について、です。資料の説明を事務局からお願いします。

(町長)

ありがとうございました。近隣自治体に比べても、しっかりとした体制整備を進めることが出来ていると思いますが、保護者や子ども達、現場のニーズは多種多様になっているようです。

(岡野委員)

支援教育と少し違うのかもしれませんが、最近では、いわゆるフリースクールの取り組みもあるようで、一定数の子どもたちが通っているようですね。もちろん、それが第一というわけではありませんが、その特性というか、様々なフリースクールの様子を知る必要もありますね。

(町長)

それもありますね。また、教育支援室やフリースクールのような場に出ていくことも難しい子どもへの支援も必要ですね。町部局も引き続き連携して取り組んでいきたいと思います。

(野谷委員)

様々な支援体制の手厚さを、現場時代当時から感じていました。二宮町の教育におけるソフト面の宝だと思います。持続されていることは感謝評価しています。

(教育長)

次年度以降も継続的に取り組めるよう、予算的なお願いを続けていきたいと考えています。

(町長)

では、続いて、先ほど子どもの読書習慣のお話もありましたが、(5) 図書館の運営について、です。事務局から、図書館の利用状況や体制の説明をお願いします。

— 事務局 —

(町長)

図書館は、令和2年度に、ラディアンとともに20周年を迎えます。利用状況という面では、特に平日日中が閑散としていることを残念に思っています。先ほどの話題もありましたが、読書習慣は、やはり幼い頃から、読書の楽しさを経験することが大切だと思います。私自身、子どもの頃の読書体験が今に繋がっています。子育ての頃からの図書館利用や、読書の習慣化、また、保護者の方にも利用していただけるように取り組んでいきたいと考えています。

(岡野委員)

街中の書店では、いわゆるビジネス書の売り上げが伸びている一方で、わかりやすくまとめられている歴史や社会関係の図書が売れているようですね。動画配信サイトでも、同様の動画の視聴が伸びているようです。このような状況は、大人の知識欲や学習意欲を表しているものと思います。子どもの読書も大切ですが、大人のニーズについても大切にしてほしいですね。

(山内委員)

選書の基準もあると思いますが、話題の本も含めて、様々なジャンルの本がある

と良いですね。

(野谷委員)

もう一度、不易と流行のお話をさせていただきます。話題の本などの町民ニーズに応える部分も大切だと思いますが、不易の部分にあたる町の歴史や文化を保存していくのも、図書館の大切な役割です。そうした部分も大事にしていきたいと思います。

(渡辺委員)

町の図書館は、働いている方の取り組みが良いですね。本の展示や紹介なども図書館の良さ、魅力を引き出すと思います。

(町長)

図書館を気軽に利用していただけるように、必要な面を変えていくことで、より利用が進むように取り組んでいきたいと思います。ラディアンも含めて20周年の節目となりますので、引き続きご意見やご提案をいただきたいと思います。

では、本日本日予定していた協議・調整事項はすべて終了いたしました。次年度の開催は、事務局の説明にもありましたとおり、令和2年5月22日金曜日の13時30分からとなります。次回もよろしく願いいたします。

これをもちまして第2回二宮町総合教育会議を閉会いたします。ありがとうございました。

15 : 13 閉会